



Circle

[サークル]

部室を探索していたところ、
「歴代公演のチラシ」発見!



[演劇部いろは団] 1977～

公演中止の危機に直面!
救ってくれたのは先輩だった

—演劇部いろは団は、1977年の創部だそうですね。長崎大学の部活やサークルの中でも歴史が長く、シリーズ系から感動系まで、演目も幅広いと聞いています。活動の中で代々受け継がれてきた練習はありますか?

山邊さん 筋トレやポーズ練習、即興劇は以前からあります。ただ、それがいつ引き継がれたものなのか知らないで……。

OB 僕は2008年の公演に出演したのですが、その時から変わっていないですね。



夏公演当日、
チトセピアホールで本番前練習。

—他に、サークルの立て看板等はどうでしょうか?

OB 確かに昔から変わっていないです。僕はあの看板を見ていろは団に入りましたよ。

菅野さん 部室は変わっていないかな? 建物自体が古いものなので。
山邊さん そういえば、以前、部室にあった2段ベッドは、私たちが片づけてしまいました。ぬいぐるみが大量に置いてあって、大掃除が大変でした……。

OB そうそう。いつの間にか無くなっていたからびっくりした。

—部室の入口には、皆さんの名札がありますね。「あ組」「さ組」「き組」と分かれているみたいですが、どんな意味があるのでしょうか?

山邊さん 代々学年ごとに「いろは歌」の順で名札が分かれています、もうすぐ一巡しそうです。

—いろはにはへとちりぬるを…これ

だけで、かなり歴史のあるサークルだとわかりますね! 今日はOBの方がいらっしゃいますが、卒業した先輩方とはよく交流されるのですか?

山邊さん 去年の冬公演から、オンラインでの事前受付を開始したのですが、先輩が遠方から公演を観に来てくださることもありました。

—やっぱり、観に来てほしいですよね。

全員 観に来てほしいです!

山邊さん 公演の前後には、お菓子やジュースを、部室まで差し入れてくれる先輩もいて、嬉しいです。

—演劇というと、会場費や衣装、舞台美術など、何かと入用なイメージがあるので、そのあたりはどうでしょう。

山邊さん 基本的には、全て部費で賄っているのですが、厳しい部分も

あります。2021年の冬公演の時は、金銭面で苦境に立たされ、公演中止になりそうでしたが、先輩方からご寄附をいただけて、助かりました。

河野さん 先輩が積極的にチケットを買ってきて、いろいろな方に配ってくださることもありましたね。

—多くの先輩方に支えられているのですね。今後、先輩方と一緒にやりたいことはありますか?

OB 僕たちの代は、公演後の打ち上げや少年自然の家で合宿をやっていましたよ。

全員 それやってみたいです!

創部年: 1977年 (昭和52年)

部員数: 19人

活動日: 月・水18:00~21:00

土10:00~15:00

※公演1週間前は基本的に毎日活動。

日々の練習や衣装、セットの準備といった現役生の努力はもちろん、歴代の先輩方が作り上げたものや支えがあるからこそ、今のいろは団が活動できているのだと分かりました。公演のチラシや名札からも歴史を感じました。現役生も知らない情報もまだまだあり、興味深かったです。いろは団の今後の更なる発展を願っています。



左から、
河野元気さん(工学部1年)
山邊愛恵さん(情報データ科学部2年)
菅野可奈子さん(教育学部2年)



Circle Interviews
広報活動
サークルが
インタビュー



取材当日、
偶然にもいろは団の部室へ
顔を出してくれたOBが、
一緒に取材を受けてくれました。

近藤由菜さん
教育学部3年

